



市民生活相談は
いつでもどうぞ

わらび 平和通信

清潔・公正・身近な市政を！
第129号 2022年盛夏号
■発行責任者■
蕨市議会立憲民主党わらび会報
蕨市議 いちのせき和一
蕨市北町1-29-17
☎048(432)2814

あやま あらた これ あやま

過ちて改めざる、是を過ちという！

蕨市長の失政、4ルートに拡充したが、利用者は激減傾向。
2021年度（令和3年度）約7,277万円の税金（赤字）垂れ流し！

再び市民に問う？ 2020年（令和2年）蕨市長は自身のマニフェスト（選挙公約）だとし、共産党市議団等をバックに独断専行でコミュニティバス4ルートに拡充したが、結果は利便性向上したが、コロナ禍で利用者が激減し、利用実績は前年度-26%、5,065人の減少。2年目の2021年度（令和3年度）は前年度21.4%、30,929人の微増だが、3ルートピーク時、年間利用者20万人と比較して数も率も大幅ダウン。お粗末極まる愚策!!

総運行経費に対する市補助金は約9割で、県下最悪の状況下。100円の営業収入を得るのにどれだけの営業費用を要するかを表す営業係数は**875円**というずさんな結果となる。一関市議は、持続可能なコミュニティバスの在り方を検討するため、第3者的な運営協議会設置を提案。蕨市民の皆様、こんな税金の使われ方納得しますか？ 蕨市長、貴方は結果責任を取るべきだ。!!



蕨市議会議員（9期）
いちのせき和一
（現在の役職等）
教育まちづくり常任委員会委員長
立憲民主党15区常任顧問
北海道函館観光大使等
（法政大学社会学部卒）

残暑お見舞い
申し上げます

速報 一関市議の提案実る！2022年度（令和4年度）当初予算の事業で実現！

①高齢者向けのスマホ講座、全公民館で開設！
昨年12月議会で提案。スマホが不慣れなデジタル弱者と言われる高齢者等のため、市内公民館で「スマホ講座」開設を建言し実施へ。定員20名で多くの高齢者が殺到し、盛況と聞く。

②公共施設窓口業務等に多言語音声翻訳機の配備！
2020年（令和2年）3月議会で提案。現下、外国人住民が総人口の1割を占め、県下最多率という現状を踏まえ、多文化共生社会における外国人住民との意思疎通を図るツール（用具）として、多言語音声翻訳機（ポケット）導入を求め、50台購入予定。

議会と行政の協働で蕨市新型コロナ・物価高騰対策第7弾実施へ

去る7月22日、臨時議会で全会一致で補正予算可決。長引くコロナ禍、物価高騰から、市民の健康と暮らし、市内事業者の営業を守るため、切れ目のない支援策を実施。総事業費6億7,431万円
（第1弾～第7弾 総計26億1,583万円）

主な事業

①ひとり親家庭等支援臨時給付金第3弾（子ども一人当たり2万円給付）..... 900万円
②学校給食費負担軽減事業（9月から来年3月まで児童一食当たり20円、生徒一食当たり24円補助）..... 1,261万円
③水道基本料金の無料化（すべての家庭・事業所2か月分対象）..... 8,411万円
④地域活性化・消費者応援事業第3弾（スマホ決済ポイント還元）..... 6,123万円
⑤暮らし応援券「織りなすクーポン」支給事業（全市民ー 当たり5千円分支給）..... 4億3,023万円
⑥燃料費高騰対策支援金（市内運送会社を対象）..... 444万円

※この事業の財源は国の地方創生臨時給付金及び市の前年度繰越金等です

どんなことでも気軽に相談下さい。第136回

市民無料法律相談へどうぞ



●開設日 8月20日（土）午後1時～午後4時
●相談場所 蕨市北町1-29-17
一関市議事務所（北町コミュニティセンターの真ん前です）
●担当弁護士 金台和夫先生
●担当者 蕨市議会議員 一関和一
電話 432-2814（※事前に一関市議までご連絡下さい）

恒例の木曜の声（蕨駅西口朝立ち）体調不良につき、暫く中断します

第26回参議院議員選挙（令和4年7月10日執行）

（埼玉選挙区）

当落	候補者名	党派名	得票数	
			蕨市	全県下
当選	関口 まさかず	自由民主党	7,484	727,232
当選	上田 きよし	無所属	4,334	501,820
当選	西田 まこと	公明党	4,272	476,642
当選	高木 まり	立憲民主党	3,925	444,567
落選	賀来 たけよし	日本維新の会	4,248	324,476
落選	梅村 さえこ	日本共産党	3,515	236,900
落選	西 みゆか	れいわ新選組	1,246	121,769
落選	さかうえ ひとし	参政党	963	89,693
落選	高橋 やすし	無所属	248	22,613
落選	河合 ゆうすけ	NHK党	203	18,194
落選	みなと 侑子	幸福実現党	135	15,389
落選	小林 宏	NHK党	251	13,966
落選	宮川 なおき	NHK党	101	12,279
落選	堀切 笹美	日本第一党	119	8,588
落選	池 高生	NHK党	60	7,178
合計			31,104	3,021,306

（投票率53.28%）

（比例区）

政党等の名称	蕨市得票数	獲得議席	内 訳		
			比例	選挙区	
自由民主党	9,643	63	18	45	
日本維新の会	4,556	17	7	10	
立憲民主党	3,632	13	6	7	
公明党	3,352	12	8	4	
日本共産党	3,224	5	3	2	
国民民主党	1,942	4	3	1	
れいわ新選組	1,762	3	2	1	
参政党	1,012	1	1	0	
NHK党	753	1	1	0	
社会民主党	739	1	1	0	
その他	406	5	0	5	
合計	31,021	0	0	0	
		合計	125	50	75

立憲民主党の候補者へのご支援ありがとうございました。
2022年8月 蕨市議会議員 いちのせき 和一

コロナ禍第七波急拡大で遂に蕨市総人口の1割強が感染、油断大敵！

一関市議の本年6月議会での一般質問(全容)

通算連続
139回目

本年3月議会に引き続き、この6月議会もトップバッターとして老骨に鞭を打ち、一般質問を通じて職責を全うして参りたい所存であります。

質問に先立ち、私事で恐縮ではありますが、先の3月議会閉会直後、一昨年以来腰痛等で歩行に支障をきたしていた「腰椎後弯症」平たく言うと「加齢性の腰痛がかり」という病に終止符を打つため、手術を決意し、33日間の闘病生活を余儀なくされ、2度の手術を経て、4月30日に何とか無事に生還して参りました。この間、多くの皆さんにご心配をお掛けする共に温かいお見舞いのお言葉を頂き感謝の気持ちでいっぱいでありました。お陰様で手術は成功しましたが、思いの外、大きな外科手術であったため、未だ体力も気力までもが萎えてしまい、今は自宅リハビリに励む日々であります。が、しかし最ベテラン議員として毅然として気概と矜持を胸に秘め、己の活路を切り開いていきたいと考えています。

1 2021年度(令和3年度)運行業務に見るコミュニティバス等の費用対効果について

最初に、2021年度(令和3年度)運行業務に見るコミュニティバス等の費用対効果について、以下8点程満を持してお伺い致します。

さて、論語に「過ちて改めざる、是を過ちと謂う」という言葉がありますが、この意味合いは「人間、過ちを犯すのはやむを得ないが、過ちを犯しても改めようとしないうこと、

これこそほんとうの過ちであるということ」で誠に示唆に富んでいます。この箴言を、皆さんはどう受け止めるかは分かりませんが、一政治家の選挙目当ての独断専行や功名心のために蔽の市政が歪められてはなりません。今後我が町は2025年(令和7年)を境に一層少子高齢化が加速的に進み、2040年(令和22年)

ったのか、また、運転免許自主返納奨励事業におけるバスやタクシーの2年間の申請数やその利用実績はどうであったのか、お聞き致します。(8)最後に、2002年(平成14年)3月にコミュニティバスを運行開始して以来、交通弱者と言われる高齢者をはじめ、障害者や子育て世代等の幅広い市民の皆さんの移動手段として重要な役割を果たしてきたが、

その内実は選挙の度に政争の具とされ、利用実績も伸び悩み、この20年間で市補助金総額(赤字補填総額)が実に6億9千73万9000円と、巨額の税金が費やされている。今後、市の持続可能な財政運営を考えた場合、第三者を交えたコミュニティバス運行協議会を設け、運賃や運行ルート、運行回数等の見直しに着手してはどうか、ご所見をお示し下さい。

2 リチウムイオン電池等の分別収集、及び公共施設への回収箱の設置について

次に第2点目として、新たな提案として循環型社会形成を目指し、リチウムイオン電池等の分別収集、及び公共施設への回収箱の設置について2点お伺い致します。

理事者ご承知の通り、蔽市の将来構想に基づき「コンパクトシティ蔽」将来ビジョン後期実現計画には、廃棄物処理の項目があつて、その目標には「ゴミの減量や分別、リサイクルに関する啓発を進め、市民の理解を深めながら、ゴミの減量化と再資源化に取り組み、市民が清潔で快適な暮らしを営める環境づくりを目指す」と謳っています。

また、あつたか市政を標榜する頼高市長の慣用句に「捨てればゴミ、分ければ資源」という謳い文句に見るように我が国は大量生産・大量消費・大量破棄型の社会経済システムから脱却し、国が進める循環型社会形成の転換を一層図る必要性があります。

- 以上の観点に立ち、
- (一)最近、ゴミ集積所にプラスチックゴミと一緒に超小型の電池が捨てられるケースが散見され気になってます。現在、リチウムイオン電池やニッケル水素電池、ニッカド電池、ボタン電池はスマートフォンやデジ
 - ①「(仮称)蔽市認知症支援条例」の制定について
 - ②「蔽市マンション管理適正化推進条例」の早期制定について
 - ③「書かない窓口」と称される窓口支援システム導入について
 - ④わらび公園への幼児・児童用混合型遊具設置について

タルカメラなど様々な生活用品に使用されており、一部のリサイクル協力店や市の公共施設内の赤いかごに乾電池と一緒に回収されているようだが、ここ数年の回収実績はどのようか、お聞かせ下さい。

(2)次に、ゴミとして出されるリチウムイオン電池を原因と思われる収集車やゴミ処理施設内の火災が全国で発生していると聞いています。リチウムイオン電池を分解しようとすると外部から衝撃を受けたり、誤って穴を開けたりすると、リチウムイ

オン電池の正、負極間がショートして、大量に流れる電流によって、局所的な発熱が生じて火災になると言われています。今後、これらの状況を踏まえ、リチウムイオン電池等は地域ごとに収集日を設け、公共施設に回収箱を設置する考えはないか、お尋ね致します。

以上、私の通算連続第139回目の登壇による一般質問を終わりますが、理事者各位には我が病身に破顔一笑に導くご答弁を期待して止みません。

には、およそ3人に1人が高齢者となり、高齢化率は29.3%と推定され、然も15歳から64歳の生産年齢人口は一段と減少傾向と減少傾向となることとが予測されています。この結果、近い将来、税収の伸びは期待できず、税収に即した歳出の調和を図り、行財政改革をはじめ、様々な見直しを行い、一切の無駄遣いを排し財政の健全化を維持していかなければなりません。

以上の観点に立ち

(一)近年、民間バス事業者の経営状態の悪化を背景に廃止されるバス路線が増える中、地域住民の住民の移動手段の確保のためコミュニティバスを導入する地方自治体が増えており、当市も例外なく2001年(平成13年)当時田中市政の下、2台の斬新な外国製のコミュニティバスが市内を駆け巡り、あれから20年余り経過した。この間4ルートに拡充されたが、乗車実績をはじめ運営コスト、受益者負担、効率性から鑑み、どのように捉えているのか、ご見解をお示し下さい。

(2)次に、2021年度(令和3年度)もコロナ禍に遭って不要不急の外出自粛が求められる中、この1年間の4ルートの利用実績はどうであったのか、お答え下さい。

(3)2020年度(令和2年度)は

コロナ禍が席卷する中、4ルート拡充を見切り発車した結果、その利用実績は散々散々たるもので、前年度比で、マイナス26%、5万651人の減となり、年間利用者は14万4千511人に激減となったが、2021年度(令和3年度)はどうであったのか、お聞き致します。

(4)2021年度(令和3年度)運行業務に見るコミュニティバス4台による年間運行経費をはじめ、運行収入、市補助金(赤字補填分)及びその割合、営業係数はどうであったのか、ご説明下さい。

(5)私自身の慣用句でもある地方自治法第2条第14項の財政規律に基づき、2021年度(令和3年度)の運行業務は、総じて費用対効果の面でどのように検証されたのか、お答え下さい。

(6)コミュニティバスを運行して以来20年余り経過し、2002年(平成14年)2台、2005年(平成17年)3台、2020年(令和2年)4台と台数を増やしてきたが、その都度利用実績をはじめ、市補助金(赤字補填分)や営業係数にどのような変化が見られたのか、お尋ね致します。

(7)7点目として、2012年(平成24年)9月17日(敬老の日)以来、75歳以上の高齢者の無料化が始まったが、その後の利用実績はどうであ



お願い

以上、本年6月定例議会で一関市議が一般質問で取り上げた内容の趣旨です。これらの一連の市当局の答弁は、後日、蔽市議会だより編集委員会発行の「わらび議会だより」を参照して下さい。



市民生活相談は
いつでもどうぞ

わらび 平和通信

清潔・公正・身近な市政を！
第130号 2022年秋季号
■発行責任者■
蕨市議会立憲民主党わらび会報
蕨市議 いちのせき和一
蕨市北町1-29-17
☎048(432)2814

2022年10月、9期36年目の晩秋

一関市議、政策提言（一般質問）連続通算第140回達成！

「継続は力なり」を自ら実践。蕨市政に金字塔を打ち立てる！

1987年（昭和62年）7月初当選以来、同年9月議会～2022年（令和4年）9月議会の毎定例議会（3月、6月、9月、12月）を捉えて、市民生活向上を期して政策提案型路線で真っ向勝負に徹し、数多くの政策を実現致しました。政治家は常に結果が問われる職業だと考えています。



蕨市議会議員（9期）

いちのせき和一

（現在の役職等）
教育まちづくり常任委員会委員長
立憲民主党15区常任顧問
北海道函館観光大使等
（法政大学社会学部卒）

本年9月議会報告 2021年度（令和3年度）一般会計決算認定案に単独退席

2022年（令和4年）9月定例議会は、去る9月1日から28日までの会期28日間の日程で開催。主な議題は、認定第1号令和3年度蕨市一般会計歳入歳出決算認定をはじめ、決算認定案9件、条例案2件、補正予算案2件、その他1件、28日の最終日に議員提出議案第6号「犯罪被害者支援の充実を求める意見書」が上程され、一関市議（立憲）は、ただ一人一般会計決算認定には、当初予算と同様に退席し、他の会派で可決・認定されました。3日間の一般質問には一関市議をはじめ、14名の議員が登壇に立ち積極果敢に議論を展開し閉会致しました。因みに、令和3年度蕨市一般会計歳入歳出決算は、総額327億5631万9956円となりました。

速報【一関市議発】近く北町地区3か所の公園の木等を伐採します

①市民体育館に隣接する北町公園は晩秋の折り、道路等に枯れ葉が大量に舞い落ちるため、地域住民の要望もあり、10月中に全面的に伐採致します。



（北町公園）

②地域住民の要望を受け、北5のちびっこ広場No.59の生い茂った樹木を伐採し、近く側溝に滞留した土等を除去致します。



（北5ちびっこ広場No.59）

③北五公園のケヤキの木を2本を伐採します。

どんなことでも気軽に相談下さい。第137回 市民無料法律相談へどうぞ



●開設日 11月5日（土）午後1時～午後4時
●相談場所 蕨市北町1-29-17
一関市議事務所（北町コミュニティセンターの真ん前です）
●担当弁護士 金台和夫先生
●担当者 蕨市議会議員 いちのせき和一
電話 432-2814（※事前に一関市議までご連絡下さい）

市立病院の発熱外来は、前日の午後1時からネットでの予約に変更されました。

9月議会における一関市議の提案が実る！

「蕨市版おくやみハンドブック」の作成致します。

市の窓口での「死亡手続き」年金や国保、介護保険等の手続きが簡素化。
蕨版エンディング・ノートに引き続き、「蕨版おくやみハンドブック」の作成が追加され、年内に市役所窓口で配布予定。遺族の負担軽減になります。因みに死亡届数は、過去3年間で年平均716件ありました。



見本

飽くなき追及！

本来ならば、刑事及び民事事犯として告訴すべきだ！

かつて「福祉の男」と自称した故岡崎春雄市議の親族が起こし、議会で頼高市長も『悪意に満ちた不祥事』言わしめた架空請求による国、及び県、市の税金の過去最悪の不正受給問題。

年度別返還額（変換請求額 26,107,122 円）

	年度返還額	年度末累計額	年度末務残高	累計回収率
平成28年度	1,894,687 円	1,894,687 円	24,212,435 円	約 7.3%
平成29年度	1,037,024 円	2,931,711 円	23,175,411 円	約 11.2%
平成30年度	628,500 円	3,560,211 円	22,546,911 円	約 13.6%
令和元年度	660,000 円	4,220,211 円	21,886,911 円	約 16.2%
令和2年度	550,000 円	4,770,211 円	21,336,911 円	約 18.3%
令和3年度	660,000 円	5,430,211 円	20,676,911 円	約 20.8%

※この返済ペースでは約30年かかる。

オミクロン株対応ワクチン接種は9月26日から始まり、お忘れなく接種して下さい。

一関市議の本年9月議会での一般質問(全容)

通算連続
140回目

15番、立憲民主党のいちのせき和一でございます。
私の9期目の任期も残すところ、1年弱となりましたが、文字通り心身ともに満身創痍の状態ですが、有終の美を飾る如く職責を全うして参りたいと考えています。また、後輩議員各位には、議会の権能として行政の監視機能の本分を果たすよう期待しています。

1 新型コロナウイルス感染症による後遺症対策について

市の見解として、後遺症については治療が終わっても一部の症状が長引く人がいて、その治療は、かかりつけ医や後遺症外来などにおいて対症療法により取り組まれているものと認識している。後遺症の相談は、かかりつけ医や埼玉県新型コロナウイルス後遺症外来への受診案内と併せて地域の受診先一覧を市のホームページ上にも追加するなど掲載情報の見直しを図ると言明。

以上の所感を述べて、最初に新型コロナウイルス感染症による後遺症対策について、以下4点お伺い致します。

(一) 聞くところによれば、新型コロナウイルスの患者は多くの場合、発症から時間が経つとウイルスは減り、発熱やせきなどの定型的な症状は和らぐが、味覚・臭覚障害などの症状が数か月持続したり、突然、記憶や神経障害といった後遺症が現れたりすることがあり、正式には「罹患後遺症」と呼ばれています。そこで、厚生労働省の研究班の調査によれば、新型コロナウイルス感染で入院した患者の約3分の1が1年後も倦怠感や呼吸困難等の症状を抱えていることが判明し、感染後の後遺症への対応が、感染対策と並ぶ大きな問題として急浮上しているが、どのように認識されているのか、お答え下さい。

(二) 当市の累計感染者数は、第7波の感染急拡大で8月29日現在、1万2千262人、総人口のおよそ16%に達しているが、これまでに保健センター等に後遺症に関する相談や問い合わせはどの程度あったのか、お尋ね致します。

保険、市税などの手続きが多岐にわたる、煩雑だという声が出ており、必要な書類や届け先を分かり易く掲載しており、遺族の負担軽減に繋がったと好評を得ているようです。県下においても川口市をはじめ、川越市、鶴ヶ島市等が既に作成したと聞いていますが、本市も作成し、窓口で配布してはいかがでしょうか、お聞き致します。

3 仮設庁舎跡地の活用について

市の見解では、貴重な資産であり長期的な視点で判断を行う必要があり、一関市議提案を含めてまずは庁内で広く用途を検討して行きたいと表明。



(北町2丁目地内の仮設庁舎)

第3点目として、仮設庁舎跡地の活用について2点お伺い致します。
ところで、2017年(平成29年)3月に改訂版市公共施設等総合管理計

画が策定され、今後施設の有効活用や適正配置、適切な維持管理など総合的なマネジメントを推進することにより、質の高い市民サービスの維持と将来にわたって持続可能な行政運営を実現することを目的とすると明記されております。今後この計画に基づき、公共施設の現状と課題と踏まえ、基本方針に従い着実に具現化することが求められているところであります。以上の観点に立ち、

(一) 来秋の新庁舎落成に伴い、旧第2駐車場に建てられた仮設庁舎は解体され返却されると聞いていますが、この土地約1千650㎡(約500坪)

(三) 新型コロナウイルス感染症による後遺症対策を講じるため、現状把握が必要であり、感染後1年以上経過した人を対象に、早急に後遺症の実態アンケート調査を行う考えはないか、お聞き致します。

(四) 後遺症の治療は確立しておらず、専門に診療する医師は少ないようであるのか分らないという人も多く、周知が課題となっています。

2 蕨市版おくやみハンドブックの作成について

4面に関連記事を掲載

第2点目として、蕨市版おくやみハンドブックの作成等について3点お伺い致します。

改めて「終活」とは、人生の締め繰りに向けて前向きに準備・整理することであり、人生100年時代をよりよく生きるための活動であり、行政も手をこまなで後押しする時代に入っています。

(一) 超高齢化社会を迎えた今日、死後の手続きをはじめ、葬式、相続、お墓等の終活問題は一層深刻化しており、そのためこれまで私は議会を通じて様々な提案をさせて頂きました。その過程で、生前に自分の思いや希望などを親族に残して置く必要性を鑑

の跡地利用を現時点でどのように考えているのか、ご所見を頂きたい。

(二) 次に跡地利用は、市の総合管理計画に基づき、地域住民のニーズを踏まえ様々な角度から検討しなければならぬと考えています。

例えば、私案ではありますが、この跡

4 元NPO法人ベストライフによる障害者介護給付費不正受給額の返還状況について

4面に関連記事を掲載

第4点目として、元NPO法人ベストライフによる障害者介護給付費不正受給額の返還状況について今回で7回目ですが、忘却の彼方に押しやらないためにも飽くなき言及を行って参ります。

ところで、本年3月、障害者の介護給付費など1億5千万円をだまし取ったとして、愛知県豊橋市のNPO法人「ソレイユ」の理事長ら3人が逮捕され、障害者に生活介護サービスを提供したとして豊橋市にうその申請をしたという事犯を目の当たりにしました。過去に施設を利用した実績のある実在の障害者の名前で架空請求したものと見られていて、本件と同様なケースであり、改めて本市の過去に例を見ない不祥事に対し、襟を正して厳しく言及

そこで、県と県医師会が今年3月、第5波のデルタ株の患者を中心とした後遺症の症例集を公開したことで、診療を始める病院が急増し、8月15日現在、県内169の医療機関が携わっていると聞いています。当市も後遺症に対応できる医療機関のリストを作成し、市の広報やホームページなどで周知してはどうか、ご見解をお示し下さい。

み、2017年(平成29年)蕨市版エディング・ノートの作成を提案し、2018年(平成30年)に初版1千部、2019年(平成31年)第2版900部、2020年(令和2年)900部と版を重ねてきたが、これまでの配布状況と評判はどうであったのか、お聞かせ下さい。

(二) 多死社会到来の中、行政における死後の手続きの簡素化やワンストップサービスを求めて2018年(平成28年)12月議会でも新庁舎に「おくやみコーナー」の設置を求めてきたが、最近ではさいたま市ではこの9月から全10区役所に「おくやみ窓口」を開設したという朗報を耳にしました。

地に旧中仙道宿場町としての賑わいに寄与する「川鍋眺斎記念美術館」の誘致をはじめ、北町地区に皆無な高齢者福祉センター等の複合施設、北町防災公園等の設置を検討する何らかの協議会を立ち上げる考えはないか、お聞き致します。

せざるを得ないと考えています。

本件は発覚以来6年間経過したが、不正受給総額約2千610万円に対し、これまでの年度別返還額及び累計回収率をはじめ、今後の完済までの見通しについてどうか、お聞き致します。

以上で、1987年(昭和62年)7月の初当選以来、登壇による連続通算第140回目の記念すべき一般質問を終わりますが、理事者各位には、心して論旨明快なご答弁を期待して止みません。

お願い

以上、本年9月定例会議で「一関市議一般質問で取り上げた内容の趣旨です。これらの一連の市当局の答弁は、後日、蕨市議会だより編集委員会発行の「わらび議会だより」を参照して下さい。